

【福岡県】

「令和6年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験 高等学校 地理歴史（地理）」
より

問題

問35 国家の領域と領土問題について述べた次の各文のうち、正しいものを選びなさい。

- ① 南極大陸では、国際連合の全加盟国が締結している南極条約により、南極地域の平和的利用や領有権主張の凍結などが定められている。
- ② 日本とソ連は、サンフランシスコ平和条約により国交を回復したが、北方領土問題は未解決のままで、ソ連を継承したロシアとの間で返還と平和条約締結の交渉が続いている。
- ③ 島根県に属する日本海上の竹島は、日本固有の領土であるが、中国によって不法に占拠されており、日本はこれに抗議を続けている。
- ④ 東シナ海上の尖閣諸島は、韓国が領有権を主張しているが、日本が固有の領土として実効的な支配を続けており、領土問題は存在しない。
- ⑤ 日本の排他的経済水域は、豊富な水産資源に恵まれるほか、沿岸の大陸棚には天然ガスやマンガン、メタンハイドレートなどの資源の埋蔵が確認されている。

解答

問 35 ⑤